

「挑め 熱き仲間と 頂点へ」

校長 前田 達彦

今大会スローガンは、「挑め 熱き仲間と 頂点へ」です。この大会スローガンやそれが描かれたポスターなどは、皆さんと同じ高校生が考えたものです。機会があれば大会期間中、どうか意識して見てほしいものです。

さて、部活動に懸命に打ち込んだ3年間は、「生涯、心に残る」とよく言われます。現在、56歳である私でも、昔は若い時があって、高校生の時がありました。当時、開会行事の入場行進に参加したことや試合のこと、特に、高3の最後の高総体のことは、今でもしっかりと覚えています。上位入賞の夢は果たせませんでした。それでも、自分の人生にとって、とても大切な3年間であったと思っています。

選手の皆さんは、まさにこれからです。「自分自身が、大きく成長していること」を実感し、それを味わう大会にしてほしいと思います。また、戦う選手の「誠実さ」「ひたむきさ」「感謝する心」、これらが応援する人の心をゆさぶり、感動を与えることも忘れないください。さらに、今年度は、皆さんと共に目指す島農のテーマ「輝」。今こそ選手の皆さんが輝く瞬間になることを大いに期待します。

高総体は「県内の高校生の品位が問われる時、品位が問われる場」でもあります。つまり、マナーや礼儀、モラル、高校生らしい振る舞いなどが、多くの人に見られている、試されている、ということです。選手だけが注目されるのではなく、応援する者も、日頃の生活の在り方が表に出て、それが問われる大会でもあります。今年度は開会式が復活したにもかかわらず、自由に応援には行けない状況ですが、「選手」はもちろんのこと、「補欠」も「マネージャー」も「応援」する人も含めて、島農生としての誇りをもって、この高総体期間中は全員がしっかりそれぞれの役割を果たしてほしいと思います。皆さんの健闘を祈ります。

(高総体壮行式 校長激励のことばより抜粋)